

柘野の農業用水ハイキング (資料)

[1]柘野東地区の農業用水路について

柘野東地区には、農業用水路があります。

耕地整理組合が大正 5 年 6 月 15 日に設立され、昭和 27 年 8 月に京都市洛北土地改良区が設立され現在に至っています。

柘野地域には 2 本の農業用水路の幹線があります。

- ① 耕地整理水路：賀茂川と鞍馬川の合流点、十三石橋のすぐ上流から取水し、柘野地区高台の田畑に水を供給しています。
- ② 毛穴井水路：柘野ダムから取水し賀茂川に近い地域の田畑に供給しています。

今回は、①の耕地整理水路を散策し、どのように水を取水し、供給しているかを見ることにより、その役割を学びます。

柘野地域に張り巡らされている水路が田んぼや畑にとっていかに大事かを再発見しましょう。

農業用水設備等の名称

1. 頭首工 (取水口付近)

(河川などから、用水を取入れる農業水利施設の総称。)

おもに取水堰とゲート設備から成る。

取水堰は、用水取入れに必要な水位を確保するためのもので、土砂吐き、魚道、流木路、いかだ道などをつける。

ゲート設備は、取水水位確保機能、取水量調節機能を担い、河川流水を安全に流下させる観点から洪水流下機能、洪水遮断機能も要求される。



頭首工 (イラスト)



頭首工 (写真)

2. 分土工（分水付近）

（農業用水の幹線水路の水を必要に応じて分流させる施設。）

円筒分土工、射流分土工、ゲート分土工がある。

円筒分土工、射流分土工：越流部を必要比率で配分する。

ゲート分土工：ゲートを操作して各支線に分流する。

ゲートの操作は手動でおこなうものと電動でおこなうものがある。



ゲート分土工



射流分土工（イラスト）



射流分土工（写真）

3. ため池

水田等のかんがいの目的で雨水を貯めておく、取水設備を備えた人工の池のこと。

4. 水路を守るために

水路には下記の問題に直面しています。

- ・ゴミの不法投棄による環境悪化
- ・農村の混住化によるモラル低下
- ・農家の高齢化による後継者不足

水路を守ることは農業を支えていくうえで大切なことです。

[2] 柗野貴船神社について

名称 貴船神社（きぶねじんじや）

他の貴船神社と区別するために、柗野貴船神社と称される。

鞍馬の貴船神社から分霊され、雨水を司る高竈神（たかおかみのかみ）・闇竈神（くらおかみのかみ）を祀っている。

本殿横にため池を有し、貴船の神様は雨水を司る神であり、農業生産の神として信仰される。

農耕の守護神であることから、当地の住民が信仰したものである。

拝殿前には上賀茂神社に類似した立砂が配置されている。

貴船神社の主な行事

- ・ 新年祭 1月1日

新たな気持ちで新年を迎える。

- ・ 節分祭 2月3日

節分の日にお祓い、祝詞、玉串奉奠をおこなう。

- ・ 虫送り祭 7月22日

稲の穂に花が咲くこの時期に、田の虫を追い払う。

護摩木に家内安全や無病息災の願いごとを書く。小真木（ごまぎ）を炊き上げ願い事が通じるよう祈願する。

- ・ 放生祭 9月15日

私たちが生きていくうえで犠牲になった動植物の霊を慰め、感謝する。

「貴船神社奉納相撲大会」が行われる。

- ・ 大祭 10月23日

コース：貴船神社～鞍馬街道または中ノ坂町～柗野別れ～上賀茂神社で折り返す。

帰りには御旅所（葵の町町会所）で休憩する

行列には氏子、獅子、お稚児、神輿、参列者などが参加する。

- ・ 新嘗祭・大祓祭 12月23日

秋の収穫の喜びと一年間の無事を感謝する。



大 祭